

# 岩崎家のお雛さま

## Hina Dolls of the Iwasaki Family

会 期 : 2024年2月17日(土)~3月31日(日)

休 館 日 : 月曜日(ただし3月4日(月)はトークフリーデーとして開館)

開催場所 : 静嘉堂@丸の内

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2-1-1 明治生命館 1階

開館時間 : 10:00~17:00 ※入館は閉館時間の30分前まで

(毎週土曜日は18:00まで開館、第4水曜日は20:00まで開館)

本展では18時までの夜間開館日を金曜から土曜に変更し、

第4水曜日の2月28日・3月27日は20時まで開館いたします。

主 催 : 静嘉堂文庫美術館(公益財団法人静嘉堂)

ウェブサイト : <https://www.seikado.or.jp/>

X(旧twitter) : @seikadomuseum/ Instagram: @seikado\_bunko\_artmuseum

お問合せ : 電話 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

入 館 料 : 一般 1,500円 大学・高校生 1,000円 中学生以下無料



3月3日は雛祭り。今年も丸の内で、かわいらしいお雛さまやお人形をご覧ください。

三菱第四代社長・岩崎小彌太(1879~1945)が孝子夫人(1888~1975)のために京都の人形司・丸平大木人形店で誂えた「岩崎家雛人形」。その内裏雛は、白くつややかな丸い顔が愛らしい稚児雛(ちごびな)です。小彌太の本邸客間を飾った雛人形は戦後散逸しましたが、2018年、桐村喜世美氏により当館に揃って寄贈され、里帰りをはたしました。

本展では、小彌太の還暦を祝し、丸平に特注した61人に及ぶ「木彫彩色御所人形」や丸平文庫が所蔵する岩崎家旧蔵の御所人形を展示するほか、岩崎家ゆかりの「白綸子地松竹梅鶴模様打掛」(個人蔵)を初公開。重要文化財 野々村仁清「色絵吉野山図茶壺」など、春にちなんだ優品もお楽しみください。

### 【展覧会の3つの見どころ】

- ①岩崎家が注文した京都・丸平大木人形店の五世大木平藏による「岩崎家雛人形」と「木彫彩色御所人形」が勢揃いします。
- ②京都・丸平文庫より、岩崎家がかつて所蔵した「御所人形 お福の花見」(五世大木平藏、昭和時代20世紀)などを特別出品。
- ③岩崎家ゆかりの「白綸子地松竹梅鶴模様打掛」などを初公開するほか、上巳の節句にふさわしい華やかな名品・優品を展示します。

【主な展示予定作品】 ※所蔵先の記載がないものは全て静嘉堂文庫美術館蔵



白く丸い顔が愛らしい稚児雛。男雛は皇太子のみが着用する鴛鴦文の黄丹袍（おうにのほう）。女雛は五衣（いつつぎぬ）、表着（うわぎ）を着用し、その上に萌黄色の唐衣（からぎぬ）を重ねます。脚部は関節を仕込んだ「三つ折れ」の造りになっています。

五世大木平藏  
「岩崎家雛人形」のうち内裏雛  
昭和時代初期（20世紀）



五世大木平藏  
「岩崎家雛人形」のうち三人官女  
昭和時代初期（20世紀）



卯年生まれの人形は岩崎小彌太の還暦を祝って製作された御所人形。宝船の船首や子供が身に着けた冠にはウサギがデザインされ、岩崎家の家紋もあしらわれています。

五世大木平藏  
「木彫彩色御所人形」のうち宝船曳  
昭和14年（1939）



岩崎家旧蔵の御所人形。女性たちが楽しそうに花見をしています。

五世大木平藏「御所人形 お福の花見」  
昭和時代（20世紀）  
丸平文庫蔵



浮世絵の始祖といわれる菱川師宣による絵巻。雛祭りの様子も描かれています。

菱川師宣「十二ヵ月風俗図巻」(上巻、3月の場面) 絹本着色 元禄期(1688~1704) 前期頃



国宝 建窯「曜変天目(稲葉天目)」  
南宋時代(12~13世紀)



重要文化財  
野々村仁清「色絵吉野山図茶壺」  
江戸時代(17世紀)



岩崎家に伝わった豪華な打掛を初公開!!

「白綸子地松竹梅鶴模様打掛」  
明治時代末期(20世紀) 個人蔵

### 【丸平大木人形店と丸平文庫】

江戸時代から約250年続く京都の人形司・丸平大木人形店(屋号「丸屋」)は有職故実にもとづく優美な人形で知られ、「丸平さん」の通称でも親しまれています。その資料室が「丸平文庫」です。

【岩崎家の家紋と替紋：「隅切り角に重ね三階菱紋」と「花菱紋」】

「隅切り角に重ね三階菱紋」は岩崎家の家紋です。「木彫彩色御所人形」の扇や幟、宝船の帆などに用いています。



隅切り角に重ね三階菱紋



五世大木平藏「木彫彩色御所人形」のうち恵比寿

「花菱紋」は岩崎家の替紋です。「岩崎家雛人形」や「雛道具」の各所に配されています。



花菱紋



五世大木平藏「岩崎家雛道具」のうち菱台

\*\*\*\*\*

【関連イベント】スライドトーク

日時：2月25日（日）、3月9日（土）、3月24日（日） いずれも11：30～  
会場：明治安田ギャラリー  
定員：30名 ※詳しい参加方法はウェブサイトでご案内いたします。

【関連イベント】トークフリーデー

3月4日（月）はトークフリーデーとして特別開館！おしゃべりしながら作品鑑賞をお楽しみください。

【三井記念美術館との相互割引】※他の割引との併用はできません。

「三井家のおひなさま 特別展示 丸平文庫所蔵 京のひなかざり」  
会期：2024年2月10日（土）～4月7日（日）  
会場：三井記念美術館  
当館「岩崎家のお雛さま」半券で「三井家のおひなさま」入館料一般200円引、大高生100円引。  
「三井家のおひなさま」半券で、当館「岩崎家のお雛さま」入館料が一般・大高生ともに200円引。

\*\*\*\*\*

【報道に関するお問い合わせは】

- ◆ 静嘉堂文庫美術館 広報事務局（共同 PR 内 担当：三井）  
※在宅勤務も増えているため、メールでいただくと助かります。  
E-mail：seikado-pr@kyodo-pr.co.jp / TEL. 03-6264-2382  
〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 銀座松竹スクエア 10F
- ◆ 静嘉堂文庫美術館 E-mail:press@seikado.or.jp（広報担当：大森）

「岩崎家のお雛さま」2024年2月17日(土)～3月31日(日)  
静嘉堂文庫美術館(静嘉堂@丸の内)  
【広報作品画像データ申請書】

展覧会の広報を目的として本申請書にてご申請いただいた記事・番組に限り、本展の広報用画像の使用が可能です。本展の会期中であっても別の記事・番組への転用はできませんので、その際には改めてご申請をお願いいたします。ご使用可能期間は本展会期終了までとなります。また、掲載に際しては、下記注意事項をご確認いただくとともに、本展終了後、データは速やかに破棄・削除してください。必要事項をご記入の上、E-mailでお申し込みください。E-mailでの送付が難しい場合、FAXでお申込みください(FAX:0120-653-545)

<画像使用全般に関する注意>

- 展覧会名、会期、会場名などの開催概要のほか、指定表記、作家名、作品名、制作年を必ず掲載してください。所蔵元はまとめて1か所ご記載ください。
- 作品画像は全図で使用してください。原則として文字を重ねる、トリミングなど画像の加工・改変・部分での使用はできません(画像背景を削除するなどは可能です)。雑誌の表紙などへの使用をご希望の場合は広報事務局までお問い合わせください。
- 概要など確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で広報事務局までお送りいただきますようお願いいたします。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録DVDを本展広報事務局へ1部ご送付願います。

希望	NO.	指定表記・作品名/画像資料名・産地(窯)	制作年/制作年代	所蔵元/画像提供元
	1	五世大木平藏《岩崎家雛人形》のうち内裏雛	昭和時代初期(20世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵
	2	五世大木平藏《岩崎家雛人形》のうち三人官女	昭和時代初期(20世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵
	3	五世大木平藏《木彫彩色御所人形》のうち宝船曳	昭和14年(1939)	静嘉堂文庫美術館蔵
	4	五世大木平藏《御所人形 お福の花見》	昭和時代(20世紀)	丸平文庫蔵
	5	菱川師宣《十二ヵ月風俗図巻》(上巻、3月の場面)	元禄期(1688～1704)前期頃	静嘉堂文庫美術館蔵
	6	国宝 《曜変天目(稲葉天目)》 建窯	南宋時代(12～13世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵
	7	重要文化財 野々村仁清《色絵吉野山図茶壺》	江戸時代(17世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵
	8	《白繪子地松竹梅鶴模様打掛》	明治時代末期(20世紀)	個人蔵
	9	五世大木平藏《木彫彩色御所人形》のうち恵比寿	昭和14年(1939)	静嘉堂文庫美術館蔵
	10	五世大木平藏《岩崎家雛道具》のうち菱台	昭和時代初期(20世紀)	静嘉堂文庫美術館蔵
	11	ポスタービジュアル		

ご住所	〒		
社名/媒体名	社名	媒体名	
ご所属/ご担当者名	ご所属	ご担当者名	
TEL/FAX	TEL	FAX	
E-mail			
掲載号/発売予定日	月号( 月 日号) / 月 日発売予定 (発行部数 部) <input type="checkbox"/> WEBへの転載あり		
チケットプレゼント	<input type="checkbox"/> 読者プレゼントを希望する ※プレゼント内容・数量に関しては別途ご相談となります。応募、当選者選定、発送は貴社でお願いできればと思います。編集部で対応できない場合は広報事務局までお問い合わせください。		
チケット送付先	※上記ご住所と異なる場合は記載をお願いします。		